



アトリエ虹便り



H24年7~8月の主な足跡

障子の張り替え(7月23(月)・24(火))

昨年張り替えできなかった、残り6枚の障子を張り替えて貰いました。

昨年は晩秋の作業で、特に水作業が冷たくて大変だったことから、今年は夏に実施して貰うことになりました。

若干、難儀している人もおられたようですが、障子張りの名人もおられて、どんどんと気持ち良く作業が進みましたね。お疲れさまでした。



芸術鑑賞(7月30日(月))

信濃美術館へ「大正ロマン昭和モダン展／竹久夢二・高島華宵とその時代」を見に行きました。正直、高島華宵さんの名前は知らなかったのですが、大正～昭和初期、少年少女雑誌で人気を博した方ようです。

大正時代のほんわかした雰囲気を感じる作品に加えて、外の暑さから遮断された館内の心地よさは最高でした。



ほたる観賞(8月3日(金))

昨年の感激をもう一度、とのリクエストに応じて、今年も志賀高原・石の湯へほたる観賞に行きました。

石の湯を流れる小川には、暗くなるに従って光る数が増えました。8時頃小川の橋の上から見ると、数十個の光が一斉に光ったり消えたりする光景はまさに光の劇場。今年は天候にも恵まれ、昨年の雨天のときとは比較にならない多くのほたる。他県から大型バスで来た人たちもいて、大勢の人たちから異口同音に聞こえる感嘆の声。見知らぬ人たちとも感動を共有できた素晴らしい夏の夜のひとときでした。

以下、TR²さんの感想です。

素晴らしい夏の一夜でした。めちゃくちゃ涼しかったですよね。植物園も爽快できもちよかったですね。動きやすかったですし、ほたるさんと遊べましたよ。夏の良き思い出となりましたことうれしく感じます。

絵本の会(8月20日(月))

お気に入りの絵本を持ち寄って、みんなでシェアしてみるのはどうだろうか、というTさんの提案で実現した初めての試みです。

最近のものから子どものころ手にしていた懐かしいものまで、各人が心に残る絵本を持ち寄ってくれました。

美しい絵あり、奇想天外なおはなしや何かをじっくりと問いかけて来るようなおはなしあり。

まさに芸術鑑賞をしながら、不思議な世界を漂うセラピーの時間。自分の心を抑え込んでいる何かが緩む感じで、リラックスできました。

